

日本カント協会「ワークショップ〈カントの永遠平和論と現代〉」のご案内

日本カント協会委員会では、イマヌエル・カントの生誕300年記念行事の一環として、平和の哲学を主題とする「研究フォーラム〈カントと21世紀の平和論〉」を開催する予定です(11月10日、東北大学)。それに先立ち、関連する公開行事として「ワークショップ〈カントの永遠平和論と現代〉」を、下記の通り、開催することとなりました。

カントの平和の哲学と聞いてまず思い起こされるのは『永遠平和のために』でしょう。本ワークショップでは、もちろん『永遠平和のために』も話題としますが、それに限定せず、カント哲学の視座から、広い意味で平和に関わる事柄を取り上げます。

哲学の研究者のみならず、平和の哲学に関心のあるすべての方々の参加を歓迎します。

記

日時:2024年9月21日(土)10:00～17:00

会場:オンライン

プログラム:

10:00～10:10 開会挨拶(寺田俊郎)

10:10～11:00 「カントとヒロシマ」はどのようにして可能か(西田雅弘)

11:10～12:00 非理想理論としての国際法の構想——「予備条項」の役割をめぐって(金慧)

12:00～13:00 昼食休憩

13:00～13:50 カントの永遠平和論——政治と宗教の観点から(菅沢龍文)

14:00～14:50 〈法〉中心の自由論——「世界市民的意図における普遍史の構想」から『永遠平和論』への思想展開に基づくカント法・政治哲学の自由主義的解釈の批判(桐原隆弘)

15:00～15:50 なぜ貧困は解決されなければならないのか

——カントとヘーゲルにおける貧困の問題(山蔦真之)

16:00～16:50 カント『判断力批判』における主観的に判断する権利

——「監視資本主義」と「〈好き〉の哲学」(古川裕朗)

16:50～17:00 閉会挨拶(寺田俊郎)

参加申込:参加をご希望の方は下記の問合せ先までお申し込みください。折り返しオンライン会場の接続情報をお知らせします。

問合せ:寺田俊郎(カント協会会員、上智大学文学部教員)

電子メール:kantjapan2024@gmail.com